

よくある疑問を解消

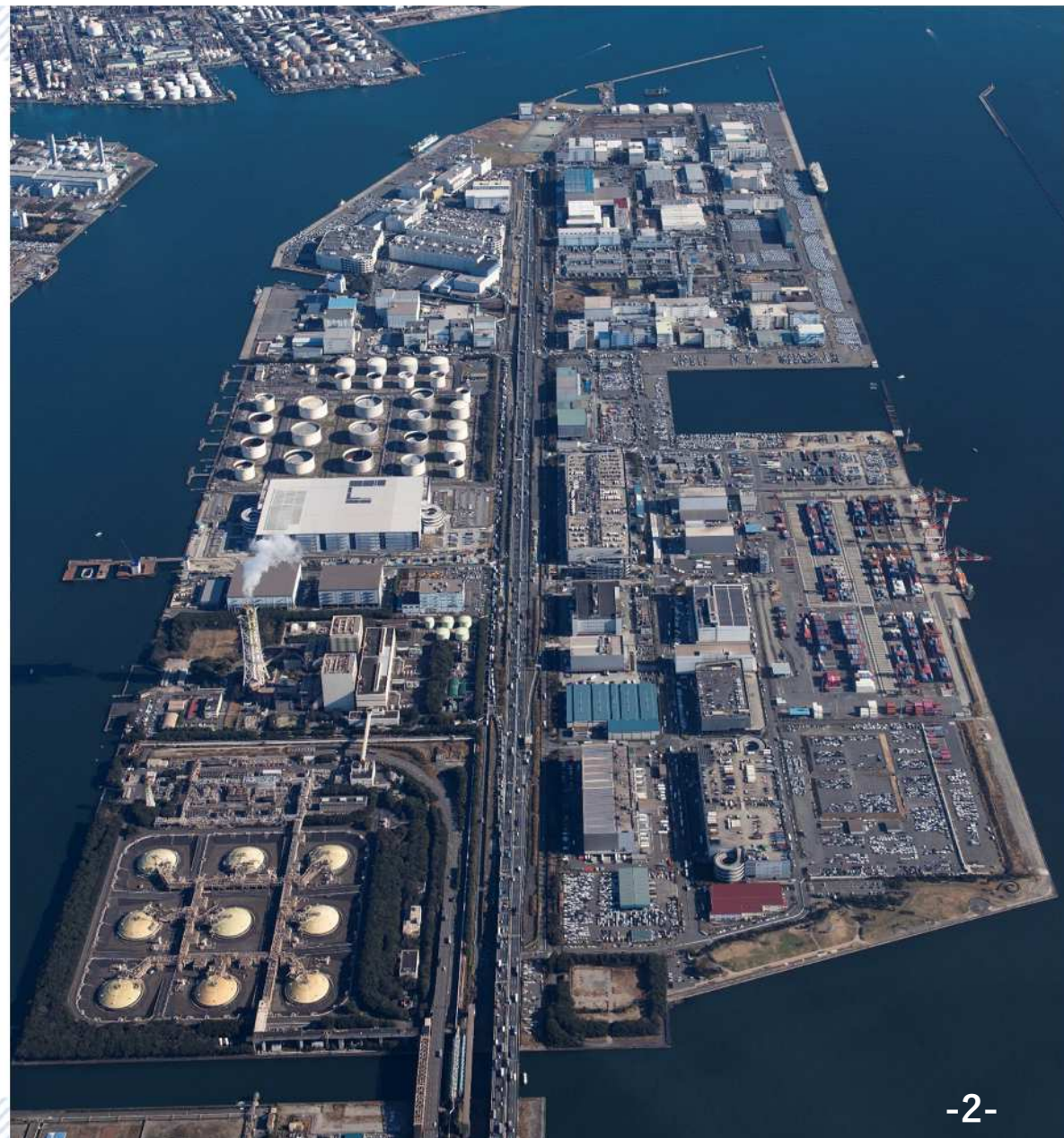
事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度編



よくあるご質問

事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度編

1. **評価項目・評価基準**
2. 評価結果の公表
3. 簡易版制度
4. 誘導・支援策
5. その他制度全般
6. なぜ川崎市がこれをやる？



Q1 温室効果ガス排出量の削減率の目標について、業種区分はどのように設定したのでしょうか？

温室効果ガス排出量算定における部門としています。

- ・川崎市地球温暖化対策推進基本計画が掲げる目標値の達成を対象事業者に求めていきたいと考えております。
- ・区分によって目標達成が容易でない業種があることは認識をしておりますので、省エネや再エネの取組のほか、グループ全体での脱炭素化の取組・イノベーションなど、様々な視点で評価を行うことで、各企業の意欲的な取組をしっかりと拾い上げていける制度となるよう検討しております。

Q2 業種ごとの特性に応じた評価項目・評価基準が検討されるべきではないでしょうか？

業界などの実情も踏まえた制度となるよう検討してまいります。

- ・ 排出量の削減だけでなく、様々な視点で評価を行うことで、各企業の意欲的な取組をしっかりと拾い上げていける制度となるよう検討しております。
- ・ 評価項目として、グループ全体でのCO₂排出量削減率を設定する案としており、その評価基準として事業者の主たる事業の業界団体が公表する目標値を設定するなど、業界などの実情も踏まえた制度となるよう検討しております。

1 評価項目・評価基準

Q3 事業活動を拡大すると排出量は増えるので、「生産額あたりのエネルギー消費」などの評価基準が必要ではないでしょうか？

省エネの項目に関して、エネルギー消費原単位を設定する案としております。

- ・原単位の活動量として生産額を選択することで、対応が可能と考えております。

1 評価項目・評価基準

Q4 イノベーションによる温室効果ガスの排出削減は、具体的にどのような事例がありますか？

NEDOなど国のプロジェクトに関連する取組等を想定しております。

Q5 RE100の取組など、全社として取り組んでいる項目も評価に入れてほしいです。

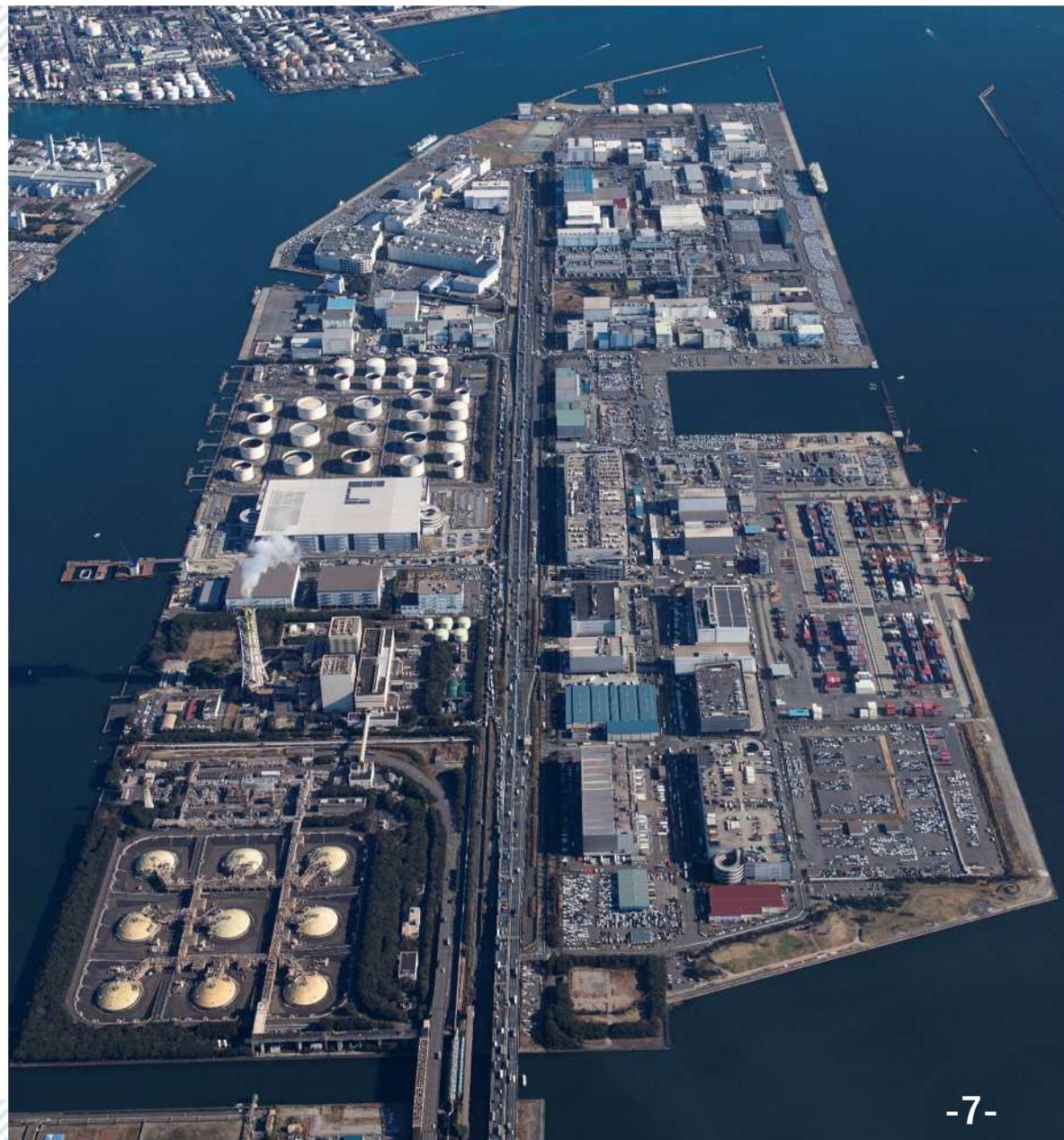
イニシアチブへの加盟についても評価する項目としております。

- ・具体的な評価項目として、SBT等イニシアチブへの加盟についても評価することを検討しており、その記載の中でRE100などの取組についても対応が可能と考えております。

よくあるご質問

事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度編

1. 評価項目・評価基準
- 2. 評価結果の公表**
3. 簡易版制度
4. 誘導・支援策
5. その他制度全般
6. なぜ川崎市がこれをやる？



Q6 評価の正当性は担保されていますか？

専門的知見を有する有識者等による、評価内容の確認を行う制度となるよう検討しております。

- ・ 評価結果の公表は、制度の信頼性・透明性を高めるとともに、制度の有効性や認知度を高め、対象事業者の温室効果ガス排出量の削減の増進に資するものと考えております。
- ・ 評価にあたっては、評価基準・評価方法等を設定・公開し、専門的知見を有する有識者等により評価内容の確認を行う制度となるよう検討しております。

Q7 公表による効果があるのかどうか疑問です。

公表は、対象事業者の温室効果ガス排出量の削減の増進に資するものと考えております。また、不利益となることを回避・軽減するための手段を講じることも検討してまいります。

- ・評価結果の公表は、制度の信頼性・透明性を高めるとともに、制度の有効性や認知度を高め、対象事業者の温室効果ガス排出量の削減の増進に資するものと考えております。
- ・一方で、正当な理由がある場合には公表を差し控えるための事前意見聴取手続きを設けるなどの不利益となることを回避・軽減するための手段を講じることも検討してまいります。

Q8 会社全体では取組を進めていても、悪い評価になってしまうと、企業イメージが悪くなってしまいう可能性があり心配です。

省エネ・再エネ等の取組だけでなく、グループ全体での脱炭素化の取組・イノベーションなど、様々な視点で評価を行い、各企業の意欲的な取組を適切に拾い上げていける制度となるよう検討しております。

- ・ 評価結果の公表は、制度の信頼性・透明性を高めるとともに、制度の有効性や認知度を高め、対象事業者の温室効果ガス排出量の削減の増進に資するものと考えております。
- ・ 評価にあたっては、評価基準・評価方法等を設定・公開し、専門的知見を有する有識者等により評価内容の確認を行う制度となるよう検討しております。

Q9 業種によっては、省エネに最大限取り組んでいるが、再エネの取組は厳しい事業者もいると思います。公表は、そのような企業への配慮は必要です。

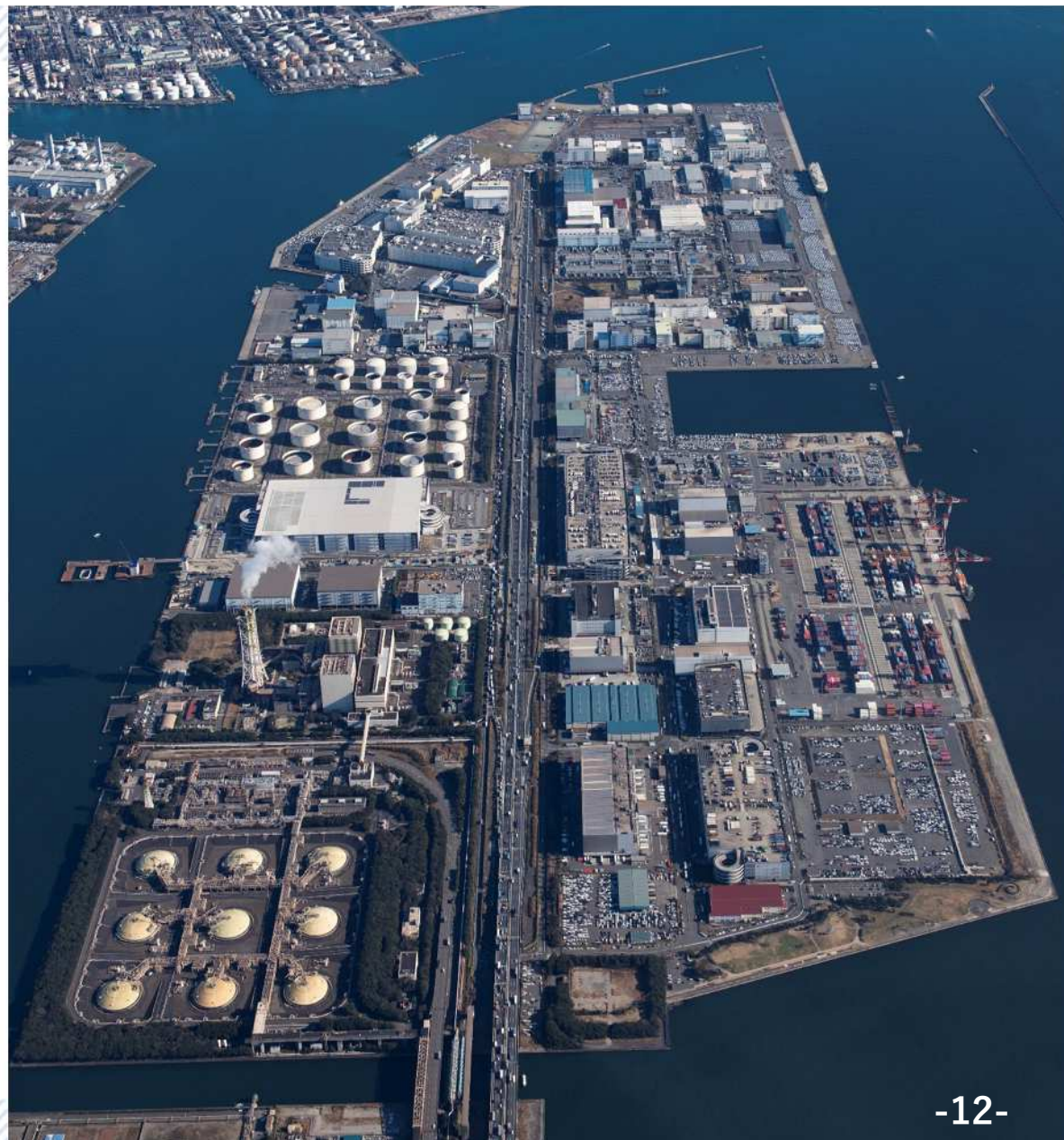
評価結果の公表に際しては、時限的・経過的措置や事前意見聴取手続きなどのフォローアップを検討してまいります。

- ・ 評価結果の公表は、制度の信頼性・透明性を高めるとともに、制度の有効性や認知度を高め、対象事業者の温室効果ガス排出量の削減の増進に資するものと考えております。
- ・ 評価にあたっては、評価基準・評価方法等を設定・公開し、専門的知見を有する有識者等により評価内容の確認を行う制度となるよう検討しております。

よくあるご質問

事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度編

1. 評価項目・評価基準
2. 評価結果の公表
- 3. 簡易版制度**
4. 誘導・支援策
5. その他制度全般
6. なぜ川崎市がこれをやる？



Q10 取引先が評価を気にする場合は、悪い評価を公表することは中小企業にとってはダメージがある可能性はありませんか

簡易版制度は、各書類を提出したこと自体を企業の努力として反映し、PR・表彰等の制度も活用します。

- ・市内の中小規模事業者に広く活用していただくことが重要と考えておりますので、PR・表彰等の制度も活用しながら脱炭素化へと誘導・支援していけるような制度設計を検討してまいります。

Q11 簡易版制度は、「省エネ」について必須項目ではないのですか。

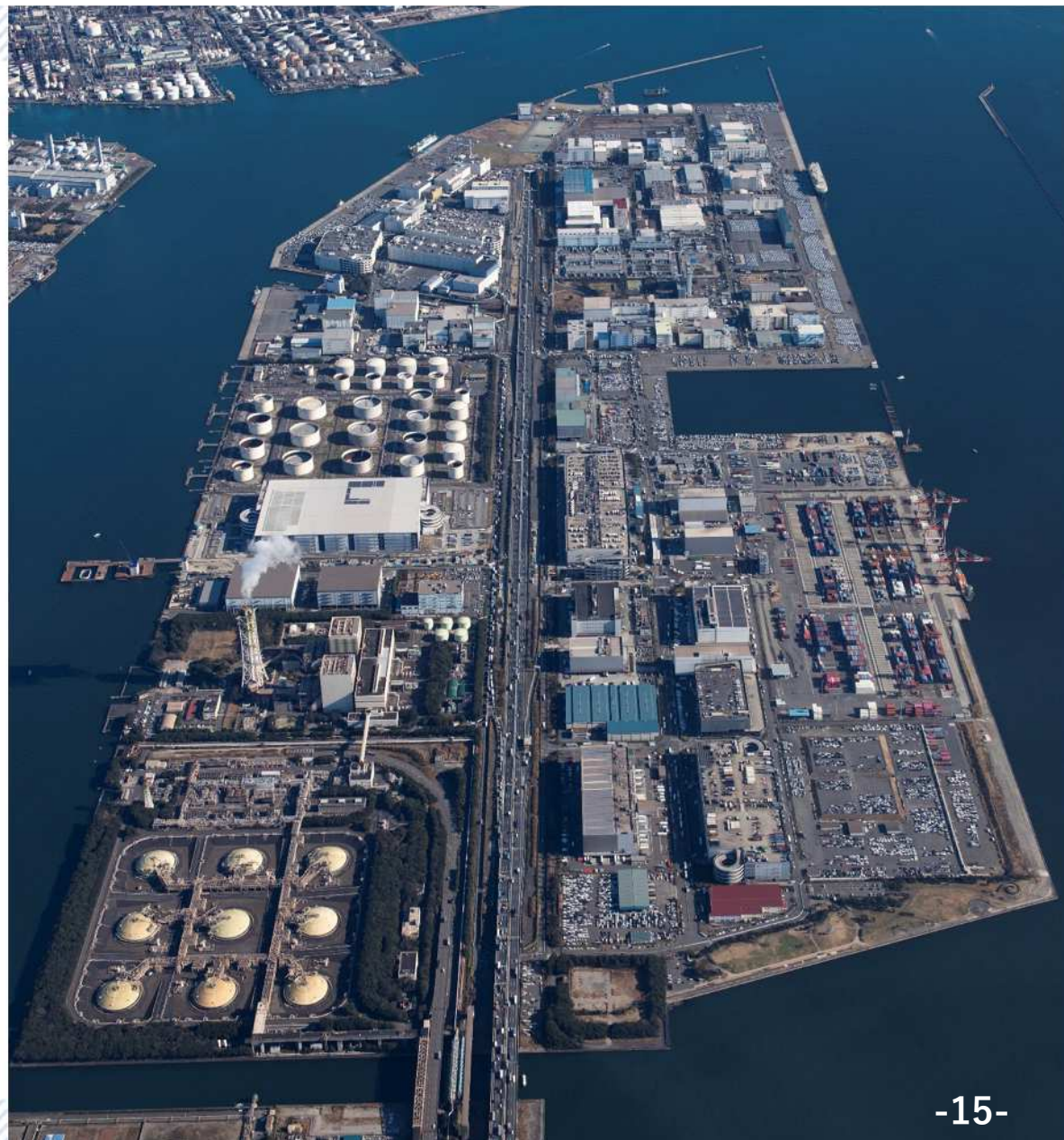
簡易版制度はできるだけ簡素化して、事業者が活用しやすい制度としていきたいと考えており、省エネについては任意項目としつつ、評価が可能な制度としていきたいと考えております。

- ・簡易版制度の必須項目については、できるだけ簡素化して、事業者が活用しやすい制度としていきたいと考えており、川崎市地球温暖化対策推進基本計画に掲げる目標との整合を踏まえ、「温室効果ガス排出量」と「再エネ・電化」と設定するのが妥当ではないかと考えております。
- ・省エネについては、任意項目としつつ、評価に応じて誘導・支援策と繋がるような制度としていきたいと考えております。

よくあるご質問

事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度編

1. 評価項目・評価基準
2. 評価結果の公表
3. 簡易版制度
- 4. 誘導・支援策**
5. その他制度全般
6. なぜ川崎市がこれをやる？



Q12 「目標を達成できるよう、このようなサポートを行います」という仕組みがほしいです。

助言、指導を強化することや、中小規模事業者向けの伴走型支援なども含めた誘導・支援策を検討してまいります。

- ・ 誘導・支援策の考え方として、2030年度までは助言・指導を強化することで、脱炭素化へ誘導し、2050年に向けては、イノベーションなど企業のチャレンジを誘導・支援するような制度となるよう検討しております。
- ・ 中小規模事業者向けの支援策として、伴走型支援や広報型支援なども含めた誘導・支援策を検討してまいります。

Q13 次世代自動車や、低排出ガス・低燃費車の導入を促進するような支援策を設けてほしいです。

充電設備及び水素ステーションの拡充を図り、市民・事業者への次世代自動車を普及促進してまいります。

- ・次世代自動車等の普及促進に向けては、国の制度とも連携した取組や優遇制度などにより、充電設備及び水素ステーションの拡充を図り、市民・事業者への次世代自動車を普及促進してまいります。

Q14 補助金による支援は、設備導入を検討していない事業者にはあまり関心が無いのではないのでしょうか？

補助金だけでなく、市のワンストップ窓口を通じた取組支援、国や支援機関と連携した支援などの制度設計を検討してまいります。

- ・ 誘導・支援策の考え方として、2030年度までは省エネ・再エネ・電化などの促進に資する助言・指導を強化することで、脱炭素化へ誘導し、2050年に向けては、イノベーションなど企業のチャレンジを誘導・支援するような制度となるよう検討しております。
- ・ 中小規模事業者向けの支援策については、広報面での支援の他、融資による連携について検討いただける金融機関もいることから、引き続き調整を進めてまいります。

Q15 事業者によっては、少人数で対応しなければならないので、課題の洗い出し、計画や設計段階からの支援がほしいです。

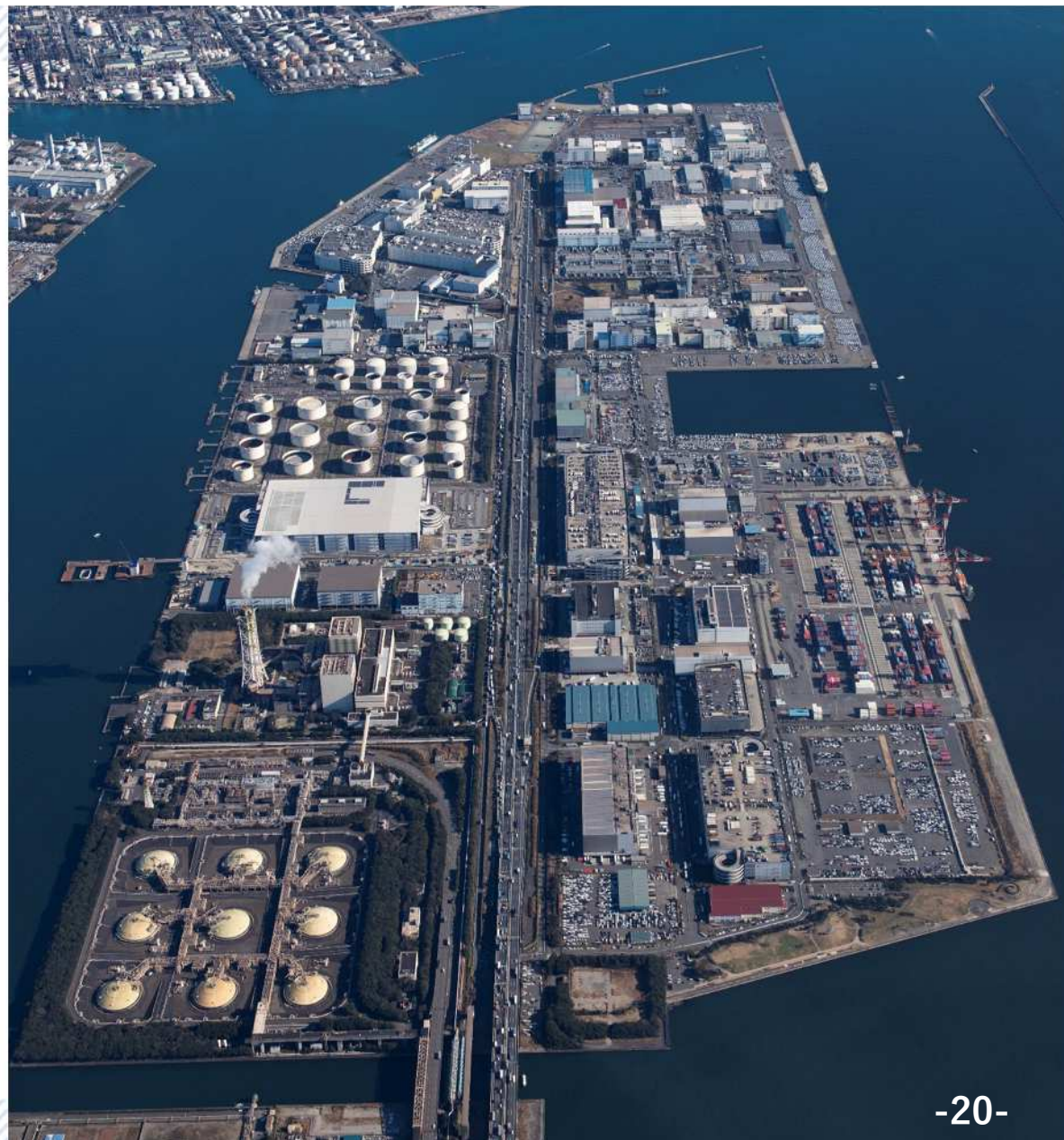
カーボンニュートラルに取り組む際の疑問や課題への対応が進められるような伴走型支援を含む誘導・支援策を検討してまいります。

- ・本市のワンストップ窓口等を通じた取組支援など、カーボンニュートラルに取り組む際の疑問や課題への対応が進められるような、伴走型支援を含む誘導・支援策を検討してまいります。

よくあるご質問

事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度編

1. 評価項目・評価基準
2. 評価結果の公表
3. 簡易版制度
4. 誘導・支援策
- 5. その他制度全般**
6. なぜ川崎市がこれをやる？



Q16 取組に対する評価が、公平で妥当なものかが心配です。

評価にあたっては、評価基準・評価方法等を設定・公開し、専門的知見を有する有識者等により、評価内容の確認を行う制度となるよう検討しております。

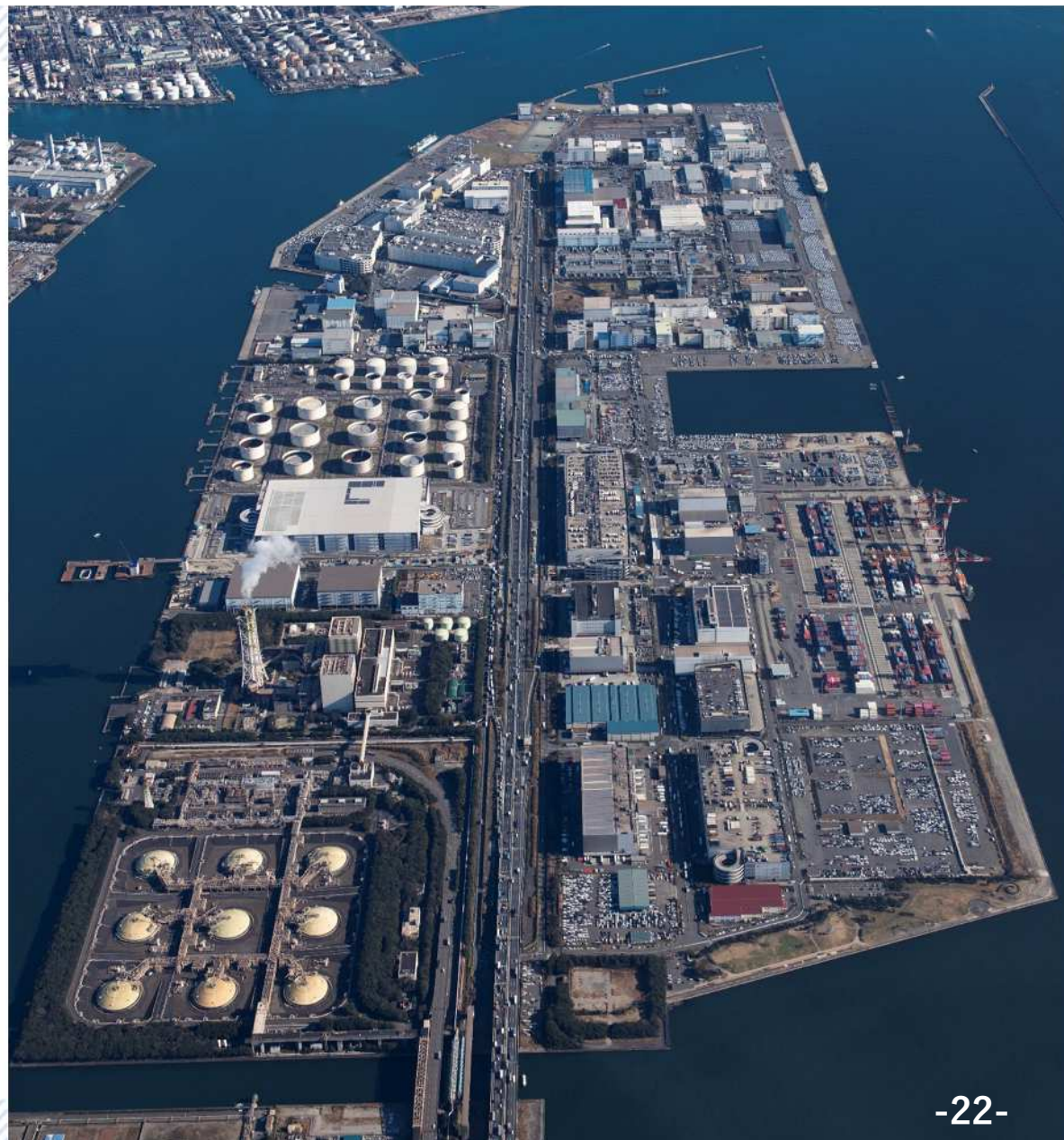
Q17 高評価となった場合にどのようなメリットがありますか？低評価だと、どのようなペナルティがあるのですか？

評価に応じて、PR・表彰等の実施や、ワンストップ窓口を通じた取組支援を検討してまいります。

よくあるご質問

事業活動脱炭素化取組計画書・報告書制度編

1. 評価項目・評価基準
2. 評価結果の公表
3. 簡易版制度
4. 誘導・支援策
5. その他制度全般
- 6. なぜ川崎市がこれをやる？**



6 なぜ、川崎市がこれをする？

Q18 なぜ、『今』やるの？

今、気候変動と国際競争の激化 が起きているためです。

Q19 なぜ、『川崎市』がやるの？

- ・ **川崎は政令市最大の温室効果ガス排出都市であり、気候変動対策の責務が大きいからです。**
- ・ 市内温室効果ガス排出量の約80%を排出量上位170者が占めています。
- ・ 中小規模事業者はグローバルに事業展開を進める企業とサプライチェーンで繋がっている中で、大企業・グローバル企業は、サプライチェーン上の企業に対しても対応するよう要請し始めており、脱炭素化の取組を進めていない事業者にとって、自社が選ばれなくなるという潜在的リスクとなっています。
- ・ 気候変動を取り巻く環境は、単に自社の環境貢献という枠組みを超え、関連企業や下請会社の経営にも影響を与えるような状況になっており、気候変動への対応に乗り遅れることは、「環境の悪化」という問題だけでなく、「産業の衰退」という大きなリスクも抱えています。
- ・ 他方、脱炭素化を取り巻く大きな変換のうねりを的確に捉え、将来に向けた積極的な成長戦略を進めることにより、民間投資とイノベーションを促し、国際的な競争力の強化に繋がるチャンスでもあります。